

クルリンと ほしぞらさんぽ 10月号

4年生のみなさんへ

伊勢原市立子ども科学館

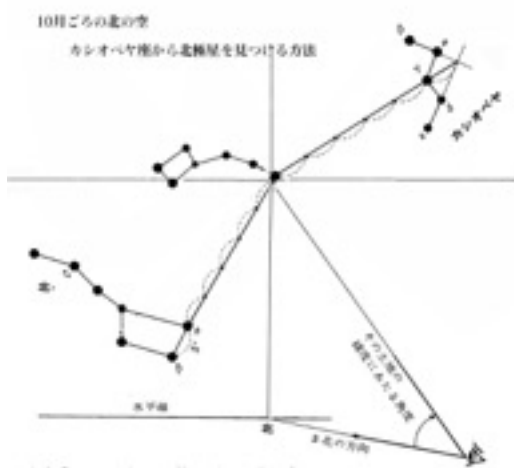


やっと秋らしくなりましたね

ひどい猛暑でしたが、みなさんお元気ですか。9月半ばまで大気が不安定でなかなかほしぞらさんぽができませんでした。これからほしぞらさんぽの季節になりますね。予習して実際の星空を見ながら勉強を深めて、というのも一つの方法、でも何も考えずにただ「星が見えた、星空っていいね」と何回もくりかえし楽しむのもほしぞらさんぽ。

北極星を探しましょう

ほしぞらさんぽで最初にすること、それは北を見つけることです。もちろん方位磁石やスマホの中にある磁針を使ってもいいけれど、空の星を見ただけで北が見つかったらちょっ



と格好いいでしょう。上の図を参考にして探してみましょう。北斗七星はもう山にかくれてしまっています。

二つの流星群

① 10月21日夜にオリオン座流星群が見られそうです。オリオン座自体は夜中にならないと見えてこないけれど、オリオン座流星群の流れ星は宵のうちから見えるはず。ど

ちらかという東の方の空かな。数はそれほど多くはないけれどしばらくがまんすればいくつかは見えそうです。この流星群の元になる宇宙空間のチリは、あの有名なハレー彗星がまき散らしていったチリです。

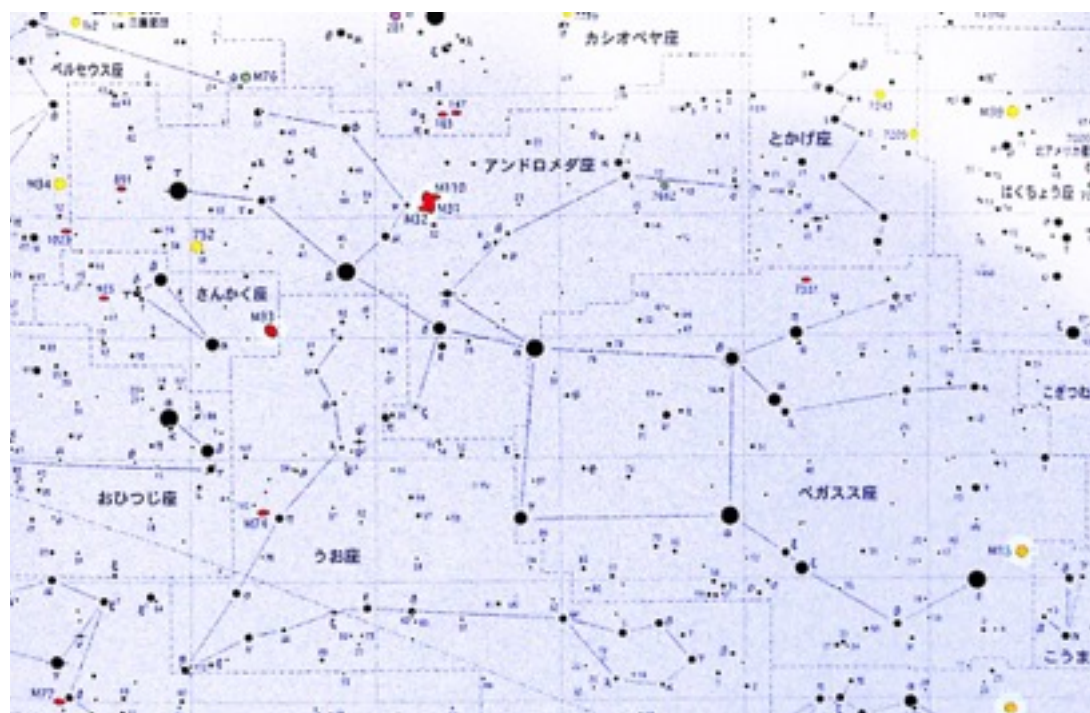
② 10月りゅう座流星群

10月8日の夜半が極大と予想されています。数は少ない流星群ですが、ゆっくりと流れる傾向があり、見つけやすいでしょう。

アンドロメダ座の大きな銀河

秋の星座で目立つのはペガスス座（天文ではペガサスとは言いません）とアンドロメダ座、そしてカシオペア座でしょう。

伊勢原の明るい夜空でもペガスス座の四辺形もアンドロメダ座も、もちろんカシオペア座も、ちゃんと見えています。天頂より北東の方角を見ると見つけられるでしょう。ペガ



アンドロメダ座には双眼鏡でも見つけられ
大きな銀河があって、**アンドロメダ銀河**とか
M31銀河とか呼ばれています。広大な宇宙に
無数にある銀河の中でも、地球からおよそ250
万光年と特別近くにあるので、暗い空でなら
肉眼でも見える銀河です。夜空が明るい伊勢

日本の空で双眼鏡で見える銀河は他にはないので、この冬の間に何度も挑戦して見つけられるようになります。アンドロメダ座の足元にある小さな星座さんかく座は見つけやすく、目やすになります。

南の空にひとときわ明るくはつきりと見えているのは土星です。あの有名な「土星の環」は今年は細く見えています。10月12日（土）に子ども科学館の天体観察会「クーデの日」に参加して土星を見ましょう。

